



# 2022年度 教養外国語 ガイダンス

# 1. 教養外国語とは

- ▶ 各自の関心や学修上の必要性に応じて履修する言語科目です。
- ▶ ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語の9つの言語が履修可能です。
- ▶ いずれの言語も以下の2つのレベルで構成されています。

教養外国語科目（〇〇語A）：初級レベル

教養外国語科目（〇〇語B）：中・上級レベル

## 2. 教養外国語の履修の仕方

- ▶ 自身の専攻言語や母語を教養外国語科目として履修することはできません。
- ▶ 言語により履修の仕方が異なりますので、「教養外国語登録のためのガイドライン」をよく読んで、その指示に従ってください。
- ▶ 学部、地域、専攻言語によって、卒業のための言語科目の必要単位が異なります。自身の『履修案内』をよく読み、自分の所属する学部、地域、専攻言語の情報を確認しましょう。

# 【言語文化学部】

- ▶ **英語**を専攻言語とする学生は、教養外国語からひとつの言語を選んで最低6単位を修得します。
- ▶ **ロシア語（中央アジア）**の学生は、教養外国語は選択必修です。
- ▶ **それ以外の専攻言語**の学生は、教養外国語またはGLIP英語科目からひとつの言語を選んで最低6単位を修得します。
- ▶ 最低6単位を教養外国語で満たす場合、教養外国語科目（〇〇語B）（中・上級レベル）を少なくとも2単位含む必要があります。教養外国語科目（〇〇語B）が少なくとも2単位含まれていれば、どのようなレベルの組み合わせでも履修可能です。ただし、初めて学ぶ言語の場合、AとBの同時履修は好ましくありません。
- ▶ 1年で1言語あたり4単位まで履修できます。

# 【国際社会学部】

- ▶ **北西ヨーロッパ、北アメリカ地域**に所属の学生は、教養外国語からひとつの言語を選んで最低6単位を修得します。
- ▶ **中央アジア（ロシア語）**地域に所属の学生は、教養外国語は選択必修です。
- ▶ **アフリカ地域**に所属の学生は、教養外国語のうちフランス語・ポルトガル語・アラビア語からひとつを選択して最低8単位を取ることが必要です。
- ▶ **オセアニア地域**に所属の学生は、教養外国語のうちフランス語・中国語、諸地域言語科目のうちのインドネシア語・マレーシア語・フィリピン語の計5言語から1言語最低8単位を取ることが必要です。
- ▶ **それ以外の地域**に所属の学生は、教養外国語またはGLIP英語科目からひとつの言語を選んで最低6単位を修得します。
- ▶ **中央アジア（ロシア語）・アフリカ・オセアニア地域以外の地域**に所属の学生が、最低6単位を教養外国語で満たす場合、教養外国語科目（○○語B）（中・上級レベル）を少なくとも2単位含む必要があります。教養外国語科目（○○語B）が少なくとも2単位含まれていれば、どのようなレベルの組み合わせでも履修可能です。ただし、初めて学ぶ言語の場合、AとBの同時履修は好ましくありません。
- ▶ 1年で1言語あたり4単位まで履修できます。

# 【国際日本学部】

- ▶ 教養外国語について特に必須単位はありませんが、言語科目全体（「基礎日本語科目」「専門日本語科目」「教養外国語科目」「GLIP英語科目」「諸地域言語科目」）で30単位以上を修得します。

## 3. 履修登録の日時と方法

- ▶ 2022年4月6日(水)10:00～13日(水)16:59 の履修登録期間に登録してください。
- ▶ 定員が埋まるまで登録が可能です。
- ▶ 履修登録時に希望の授業に空きがないようにみえた場合でも、その後キャンセルが出れば、履修登録期間内に限り登録できます。